

平成 29 年度「地引き網漁業体験」レポート

10月28日（土）、淡路島は洲本市五色町都志の都志漁港へ漁業体験に行ってきました。参加したのは兵庫県内の児童とその保護者。台風 22 号の影響で事業の実施を心配していましたが、時折雨がぱらつく程度の天候で、風はほとんどなく、波はおだやかで安心して作業ができました。



まずはお世話になる漁協のみなさんにあいさつ。作業に入る前に、漁師のおじさんから地引き網の仕組みと、網を引き上げる際の注意点などの説明がありました。



やがて船がやってきて網を仕掛け、いよいよ作業開始！
2チームに分かれ、網の両端のロープを引っ張ります。
ずしりと重い網は大漁の予感!?

タイミングを合わせながら引き続けていると、沖の方に見えた網の先端が浜に近づいてきます。



引き上げると立派なハマチやタコの姿が！
ほかにもチヌ、カワハギなどたくさんの魚たちが。
見事な大漁ですが、そのままでは食べられません。
ということで、今度は魚をさばく作業へ。
包丁を持つので、ケガしないように気をつけて



ウロコをとって、頭を落として、はらわたをとり除いて…。
子どもたちは跳ねた魚に驚いたり、タコの動きと触った感じを気味悪がったりと、最初はおっかなびっくり。でも、保護者のみなさんと一緒に包丁を動かしているうちに手つきも慣れてきて、中には板前さんのような手さばきの器用な子も。

県水産課中西氏から、兵庫県の水産業についてクイズを盛り込んだ説明があり、参加者は真剣に聞き入っていました。



そしてお楽しみ、自分たちで獲ってさばいた魚をバーベキューに。魚は新鮮そのもので、ごはんは淡路の地元米。
食べているのはさっきまで目の前で元気に泳いでいた魚。

命を「いただく」という意味を学ぶ、良い機会にもなったようです。

この体験を通じて豊かな海の恵みを実感して、お魚をもっともっと好きになってくれたら嬉しいですね。



帰る頃に、少し雨が降ってきましたが、無事に地引き網漁業体験を実施することが出来ました。
おつかれ様でした。

